

前から見るとマスク着用率 100 パー。白やらピンクやら黒やらマダラやら、なんかすごいのが。今日わたくしはアクリル板の手前におりますので、マスク無しということにさせていただこうと考えております。というのは、もう苦手です。メッセージする時にマスクしていると、吐く時に語尾があまり聞き取れないことがあるけど、吸う時に鼻と口の部分がピタッとくっついて、窒息するような感じですよ。それで苦手だなと思っていたのですが、もう一つ。

左耳のマスクのゴムがかかる所に、今ものすごいアトピーが出てるんです。あまりの痒さで夜中に目が覚めて、無意識にポリポリ掻く。掻くと余計痒くなる。なぜ、こんな所がこんなに痒いんだろう？ただれるんだろう？マスクです。皆さん、大丈夫ですか？へっちゃらと言う方は、相当面の皮が厚いみたいなの…。失礼しました。

ということで、私はマスクがイヤなんですけど、この夏、マスク大好きという青年と出会いました。3週間ほど北関東・甲信越を、大きな集会ではなく個人的な面談を中心にとということで、ぐるりと回ったのですが、ある青年と約 10 年ぶりに再会したんです。彼は今学校に行っていない。だけど YouTube 見てくれて懐かしいなというのと、親の強力な勧めもあり、私と個人面談の時間を持ちました。

何というか、「懐かしいなあ！」とハグするような感じではなく、何とも言えない緊張の空気なんですね。50 歳が 60 歳に、60 歳が 70 歳になっても、あまり変わらないじゃないですか。変わります？変わるかもしれませんが、10 歳が 20 歳になると別人 28 号ですよ。えっ？えっ?!と。可愛らしくて女の子みたいな男の子が、そのまま青年になると美しい男になりますよ。ちょっと嫉妬を感じ…。もう男前。

それで中々話が始まらない。というか盛り上がらないので、マスクの話でもするかと思って、「夏なのにマスクって蒸れるし、ホンマ不便な世の中になったなあ」と言ったら、(*サラッと)「そうですか？僕にはありがたいですね。」実際、彼は新型コロナウイルスが流行する何年も前から、1 年中マスクを欠かしたことがない。マスクしていたら自分の素顔を見られないので安心だ。素顔を晒すということは、自分の表情を他人に読み取られてしまう。

そして、よくよく考えると、彼の前髪はバサッ落ちてるんです。殆ど目が隠れるくらい。で、鼻から下はマスクでしょ。それ、ロールパンナちゃん(*アンパンマンのキャラクター)じゃない。って、なに言うてるかよう分からん。これは彼の許可をもらって話してますからね。

「自分の素顔を晒してだと話せないと思う。自分が何を考えているかよく分からないようにすることで、表情を読み取られないようにすることで、僕は自分のことを少し伝えることが出来る。」
そういう考えの人もいるんかと。

彼に連絡をしたのは「耳のアトピーありませんか？キミ、どんな対策してんねん」聞こう思って。で、「そんなん、ちょっとモッタイナイことないか？」とにかくイケメンなんですよ。

「素顔晒したら、皆振り返るんちゃう？ええ顔してるがな」と言ったら「高原さん。そんなに気を遣わなくていいですよ」と。年下に「氣い遣うなよ」と言われて、オイオイと思ったんですけど。

話してて、彼自身も言ってましたが、自分に肯定的な言葉・評価する言葉・前向きな言葉・褒めてくれる言葉を素直に受け止めることが出来ないんです。

どっちかというとな否定的・ダメ出しの言葉はズシーンと入る。でも「こんな良いところもあるじゃない」とかの評価する言葉に対しては「ありがとう」とならない。「氣い遣わなくていいっすよ」って。

なんで、そうなったんだろう？恐らく、自分の素顔を晒して本心を打ち明けたとき、それによって酷い目に遭うということを何回か経験しているからだと思いますね。

「あなたにだけ、打ち明けることです」と言って、ある特定の秘密を打ち明けたら、いつの間にか皆に知れ渡っているみたい。あなたを信用して話したのに、それがいつの間にか吹聴されている。皆に知れ渡って恥ずかしい目に遭う。

信頼してみても、自分の素顔を晒してみても、自分自身を預けてみた結果、いい結果ではなく酷い目に遭った。そんなことを人生で何回も何回も繰り返していたら、もう信用なんか出来なくて自分の中に閉じこもる。そういうこっぴどい目に遭うと、世の中の人には全員信用出来ない人だ、という心境になる…かもしれませんね。

子供のときに犬に噛まれた人は、世の中の犬は全部、人を見たら噛んで来ると思うじゃないですか。でも犬は基本的に人懐っこいですよ。うちの家の前に、朝必ずジャックラッセル2匹連れてる人が散歩に来るんですよ。家内がそれ必ず見る。「飼いたい…。2匹もおるから、1匹分けてくれへんかな。」何を言うとんねんと。耳がピンと立ってる犬。ぷりっぷりしたお尻の犬が好きだそうです。僕は犬も猫も両方好きだけど、猫はマイペースじゃない？ツンデレや。犬は、帰宅しても家族は見向きもしなくなったお父さんを、犬だけは「お帰りなさい！」もう人懐っこいですよね。

私、何の話してたか…、最近時々そういうことがある…。そうそう。思い出した。

1度犬に噛まれて大怪我したら、どんな犬を見ても、人間に飛びかかって来るんちゃうかと。これを自動思考と言います。根拠もないのに、自分のごく限られた人生経験を普遍的な法則のように思い込んでしまって、「私は不幸になるに違いない。」「私は失敗するに違いない。」「私は何をやっても上手く行かないに違いない。」「世の中の人間は誰も信用出来ないに違いない。」自動思考です。根拠がない。

世の中にはそういう人もいるけれど、そうでない人たちはもっとたくさんいると思いますよ。そうでない人たちとたまたま出会ったことがなかったとしても、神様はそのような人と出会わせることが出来る方です。

クリスチャンの場合も、残念な経験をして、傷だらけになって教会に来る方もたくさんいますが、基本的には、人間の中には良い人もいますが、その人を神のように信頼することはないと思いますね。絶対に信頼することが出来る方はお一人だけ。それは、あなたを造られた神。創造主。人が作った神々ではなく、人をお造りになった方。この聖書の神は絶対に信頼出来るんです。

その人が信用出来るか出来ないか、何で決まりますか？私は実績で決まると思うんですよ。

なんぼ口でエエコト言うてても、その人は約束したことを今まで守りましたか？守りませんでしたか？本人に不利になっても、言った約束を必ず守ってくれる人は信用できるじゃないですか。そのときそのときはエエコト言うても、いざというときに約束破るような人は信用出来ない。つまり関係性において、何が1番根拠になるかという実績に尽きるんです。約束を守ったのか、守らなかったのか、ということに尽きるんですよ。

聖書の神は約束を守る神である、ということが歴史の中で立証されているんです。聖書は大きく分けると、旧約聖書と新約聖書の2つに分けることができます。旧約聖書はイエス・キリストが来られる前に書かれた聖書。新約聖書はイエス・キリストが来られた後で書かれた聖書。

旧約聖書には約束が書いてあります。何に関する約束か？神は人類を救済するために、人となった神・人間の罪を赦す神・人間の問題を解決する神・死の問題を完全解決するために、いのちを献げる自己犠牲の神を救い主として送ります、という約束です。メシア（救い主の意味）預言と言います。

このメシア預言が旧約聖書の中に300カ所以上書いてあるのですが、その全てがイエス・キリストの生涯の中で全部実現している、ということを実証しているのが新約聖書です。つまり、“旧約における約束はイエス・キリストにおいて全部実現した。その約束は耳を揃えて果たされた”ということを実証しているのが新約聖書。

信頼出来るかどうかは実績が全てです。聖書を見ると、約束を守り抜いた実績者で神に勝る者はいない。聖書の神は信用出来るんです。信頼出来るんですね。

そこで今日は、旧約聖書で最も多くのメシア預言が語られている書物 **イザヤ書**を見たいと思います。**イザヤ書**は“第5の福音書”“旧約の福音書”という別名があるくらい、イエス・キリストについて事前に預言している箇所が多いんですね。この**イザヤ書 55章**から一緒に見たいと思います。

イザヤ 55:1-3

1. ああ、渴いている者はみな、水を求めて出て来るがよい。金（かね）のない者も。さあ、穀物を買って食べよ。さあ、金を払わないで、穀物を買え。代価を払わないで、ぶどう酒と乳を。
2. なぜ、あなたがたは、食糧にもならないものために金を払い、腹を満たさないものために労するのか。わたしによく聞き従い、良いものを食べよ。そうすれば、あなたがたは脂肪で元気づく。
3. 耳を傾け、わたしのところに出て来い。聞け。そうすれば、あなたがたは生きる。わたしはあなたがたと永遠の契約を結ぶ。それは、ダビデへの確かで真実な約束である。

3節の耳を傾け、わたしのところに出て来い。わたしはあなたがたと永遠の契約を結ぶ。

ここのわたしは、イザヤではなく神のことです。私たちが造ってくださった作者。創造主なる方。宇宙の第一原因者。皆さん、あなたには作者がいるんですよ。この世界を人が生きるのに最適なものとして設計してくださった第一原因者がいる。

私は金子みすゞ（1903-1930/M36-S5）さんの詩が好きで。金子さんの詩は五七五七なんですよ。だから、日本語で五七五・五七五七七・五七五七って、リズムカルなんです。日本語のリズム。彼女の詩は殆ど五七七五調。だから、なんか弾むように心に入って来るんですね。日本語っていいなあ…って、つくづく思いますよ。

『蓮と鶏』（はすとにわとり）

泥の中から 蓮が咲く。 それをするのは 蓮じゃない。
卵の中から 鶏（とり）がでる。 それをするのは 鶏（とり）じゃない。
それに私は気がついた。 それも私のせいじゃない。

泥の中から綺麗な蓮が咲く。蓮の葉っぱ、泥の上に浮いて咲いてるけど、泥の跡やシミ・汚れが全然ないでしょ。めっちゃ綺麗。なぜかという、水の分子はオングストローム単位ですが、それを支えるような構造が蓮の葉っぱの上にあるので、蓮の葉に泥水がかかっても水玉になるんです。それがコロコロと転がりながら、蓮の上に付いている泥や埃を全部吸い取りながら、こぼれ落ちて行く。これをロータス効果と言います。ロータスは英語で蓮のことです。

アメリカ陸軍の特殊部隊が、生物化学兵器を付けられてもコロコロと流れて行くような特殊ジャケットを開発しました。これは蓮の葉っぱの構造を研究して解明し、それを人工的に再現することによって作ったんですよ。人間が作る物の中で凄い作品というのは、自然界に既に存在しているものの物真似であるケースが多いんです。知恵ある人間が思わず物真似てしまいたくなるようなものが、どうして知恵の無い結果出来るのでしょうか。この世界は見事に造られているのですね。

泥の中から 蓮が咲く。 それをするのは 蓮じゃない。
卵の中から 鶏（とり）がでる。 それをするのは 鶏（とり）じゃない。

全ての生き物・命あるものは、なぜ生まれて来たのでしょうか。「生まれて来るぞ！」と決心した結果、生まれたんですか？生まれる前は存在していないんだから、決心する自分が存在してない。自分が存在してないときに、どうやって決心しますか？「生まれて来るぞ！」言うて。人間も含めて、私たちは自分の意思で生まれて来たのではありません。命を授かったんですよ。生かされています。私たちは造られた。この世界に送り出してくださった方がいる。あなたの命のルーツがおられるんだと聖書は言うんですね。

泥の中から 蓮が咲く。 それをするのは 蓮じゃない。
卵の中から 鶏（とり）がでる。 それをするのは 鶏（とり）じゃない。
それに私は気がついた。 それも私のせいじゃない。

この世界は第一原因者無しには出来ないじゃないかとハタと気づいたけれど、それは、私が頭がいいから気づいたんじゃないかと、私に気づかせた方がおられるのではないかと。詩人の魂というのは鋭い…。鋭いですね。

わたしと言われている方は、あなたを造られた方だ。聖書はこれを大前提として書いてあるんです。しかし、人間はこの神に対して罪を犯しているために、泉である神様から離れているので渴く者・飢える者になっていると言うんです。

ここで、罪について2種類のことが説明されています。

罪1：神ならぬものを神として信頼し拝むこと。偶像礼拝と言います。

2.なぜ、あなたがたは、食糧にもならないもののために金を払い、腹を満たさないもののために労するのか。

食糧にもならないもののために金を払うとは、人間に命を与え、食糧を与え、環境を与えている神ではなく偶像のことです。神ならぬものに金を払い、人間が作った神ではない神々のために一生懸命苦勞して、人生の多くの時間を使い、多くのお金を払い、なぜそんな無駄なことをするんですか？
「それでも私は満足だから。」

『探偵ナイトスクープ』という関西で絶大な人気を誇る番組、今住んでる所にはテレビがないのですが、昔はよく見ました。上岡龍太郎（かみおか りゅうたろう）のときから見てました。西田室長のときも見てました。今は誰か知りません。言ってる意味分かる？

『探偵ナイトスクープ』は、視聴者が「こんなこと困ってるので助けてください。」「こういう問題があるので解決してください。」「こういう人を捜しているのを見つけてください。」そんな番組。実に肩の凝らない番組なんです。

皆さん。つねった時、1番痛いのはどこか分かりますか？「それを調べるために協力してください。」くだらんなあ思いながら、最後まで見ました。全身色んな所をひねる・つまむんですよ。それで痛さを10段階でやって、飛び抜けて1番は内ももなんです。ぜひお帰りになられたら、どれくらい痛いかやってみたらいかがですか？
くだらんなあ言いながら、金曜の夜やからゆるめる。「あはは」と思ってたんですよ。

笑えない相談事が1つあったんですね。あるOLの依頼でした。彼女は都心のオフィスに勤めていて、すぐ近くに男性用洋品店…スーツだけではなく、カジュアルではないけど色んなものが飾られているお店があって、ショーウィンドウを見てもなしに行き交っていましたが、あるとき、ショーウィンドウに飾られていたマネキンに一目惚れしたんです。マネキンに。
そのマネキンを見ると、ほんまにキュンとするんですって。もちろん彼女にも初恋があったんですよ。でも、そんなとは比べものにならない。究極の理想の男を、このマネキンの中に見出すんですね。そのショーウィンドウの近くに来ると胸がドキドキ。マネキンですよ！

そのマネキンと出会ってから、会社に行くのが楽しくなりました。通勤のとき、必ずマネキンの前を通るから。そして、店が閉まる前に退社するんです。「〇〇君、ちょっと残業してくれ。」「無理です。今日用事がある。」用事って、マネキンひと目見るんですよ。シャッター降ろされたらあかんから。マネキンにウツトリして。

ところが、冬物のシーズンが終わると、そのマネキンが撤去されたんです。確か、彼女はそのマネキンをジョーと呼んでた。「私のジョーがいない…」春物のジョーを見つけようと、店に入って色々捜すけど無いんです。どこにも無い。それから彼女はふさぎ込むようになって、探偵ナイトスクープに依頼します。「私のジョーを捜してください！」そのときの探偵が誰だったか忘れちゃった。

そこのお店に突撃して「ここにあったこんな服のマネキン、どうなりましたか？」「シーズンオフになったので、倉庫に引き上げてあります。」倉庫に行ったら、マネキンが何百体とある。倉庫のマネキンは全部裸。服着てへん。それが立ってるんじゃなくて、横倒しでズラ〜っと。倉庫の2階部分全部、おびたしいマネキン。この中から、どうやってジョーを見つけ出しますか？5分かからなかったんです。サーっと見て「あっ、ジョー！」
そして、譲っていただけないかの話になって、確か譲ってあげたと思います。そこは覚えてない。彼女はハグしてウツトリして。私はそれを、ちょっとやばいなと思いながら見てました。

というのは、ジョーに恋してから、生身の男性に一切関心を持たなくなってるんです。相手はマネキンでっせ。どんなにラブコールしても返事は返って来ない。耳があっても聞こえず、目があっても見えず、口があっても話すことが出来ないマネキンですよ。しかし、彼女はその虜となって、そのために会社のスケジュールを全部合わし、そして、そのために生身の人間との関係を結べなくなっている。

マネキンに捉われて、生きることが出来たはずの人生を生きることが出来ていない。一時的ならいいけど、5年経っても・10年経っても・20年経っても「ジョー」「ジョー」「ジョー」言うてたら、そのうち人生終わるんじゃないか。みんな「あはは」と笑っているけど、他人事だから笑っているんであって、もしそんな女性が自分の家族にいたら、臨床心理士のところに連れて行きますよ。「なんとかしてくれや」みたいな。私にはそれは不気味なことでした。

だけど、私たちはそれを見て「変だな」と思うかもしれないけど、実は同じようなことを、多くの日本人はしてるんじゃないですか、というわけですよ。真の神・私たちが造った神・日本人を造った方・日本列島を造った方・天地万物の第一原因者である創造主がおられるのに、その神ではなく、自分の手で作った神社・仏閣・偶像を拝んで、そして「私はそれで満足なんです」と言うかもしれない。だけど、そこに捉われている限り、造り主との関係を築くことは出来ないんです。聖書は神ならぬものを神として拝むことを罪だと語っています。

そして偶像は、人間が金属や木や石で作った神々だけではなく、ある人の場合は仕事が偶像になる。仕事を神としている人は、仕事のために友人関係も家族も犠牲にします。人生の優先順位で最高位・最優先されるべきポジションに仕事を持って来るというのは、聖書によると偶像です。ある人は自分自身が偶像。自分を拝む。自分真理教。

神でないものを神として崇拝する生き方を聖書は罪・的外れだと。本来の的は創造主なのに、そこから別のものを的にして拝んでいるのは罪だと語るんです。

罪2：神から離れて、神は無いと考えること。

3. 耳を傾け、わたしのところに出て来い。ここでは招いているんですね。「わたしに近づいて来なさい。わたしのところに戻って来なさい」というメッセージです。そうすれば、あなたがたは生きる。ところが、人間がやっていることはその正反対。逆。わたしのところに出て来い。ではなく、わたしのところから出て行ってるんです。神のところから出て行ったんですよ。家出してる。

いのちの泉である方・いのちのルーツである方から出て行っている。ので死ぬ。いのちの根源と切断しているので死ぬ。だから戻って来なさい。わたしのところに出て来いというのは「戻って来なさい。そして、聞きなさい。」「福音を聞きなさい。神の言葉を聞きなさい。」
そうすれば、あなたがたは生きる。

つまり、もう1つの罪は、神ならぬものを神として崇めるだけではなく、神から離れて、神なんか無いという考え方です。本質は一緒。「偶像礼拝、この21世紀になんとバカなことをやってるんだ。科学で全て解明出来るんだ。」「無神論こそ真理だ。神なんか無いんだ。」「たとえ神がいるとしても、私はそこに戻りたくない。出て行ったまま

で結構です。」創造主から離れて出て行っている状態のことを聖書は罪と語るんですね。

創造主の視線が見えなくなると、人間は自分が罪びとであることすらも分からなくなるんです。私たちは色々失敗したしミスもある。誰も見ていないところでやった失敗や、絶対バレない失敗はあまり恥ずかしくない。でも、人前でやらかした失敗は恥ずかしいですよ。

例えば、私がここでオナラ1発かましたとしますよ。それがYouTubeで全世界に流れる。めちゃくちゃ恥ずかしいですよ。だから「編集してくれ」と頼むに違いない。「ここだけ切っといってくれや」と。そんなん流された日には、恥ずかしくて恥ずかしくてたまらない。しかし、私は人知れず何発もかましたことがありますよ。いつかましたか覚えてへんもん。知られてないから恥ずかしくないんですね。でも秘かに聞いてる人がいて、「え、聞いてたん？」となったら、めちゃめちゃ恥ずかしいですよ。オナラは罪じゃない。マナー違反だけやん。

金子みすゞさんの詩『犬』

うちのだりあの咲いた日に 酒屋のクロは死にました。
おもてで遊ぶわたしらを いつでもおこるお婆さんが おろおろ泣いて居（お）りました。
その日学校（がっこ）でそのことを おもしろそうに話してて
ふっとさみしくなりました。

「ダリアが咲いて嬉しいな」と思っていたら、酒屋のクロという犬が死んだんですね。酒屋のおかみさんは、店の前でギヤースカ騒いでいる子供たちを「商売の邪魔やから！」といつも怒って追いかうんです。子供の立場だと「うるさいお婆さんだなあ。いやだなあ。好きじゃないなあ。」とにかく怖くて、子供の気持ちが分からない。そんなお婆さんが、愛犬クロが死んだとき、愛するものを失っておろおろ泣いている。「あんなにいつも威勢のいいお婆さんがね、しょんぼりして泣いてたんだよ！」と面白そうに話した後で、ふっとさみしくなった。

言おうと思った時と言ってる時には、「いい気味だ」みたいな思いがあったかもしれません。いつも口うるさいお婆さんがこんな目に遭って、ちょっとスカッとしたという。だけど、それを面白おかしく話しているうちに、気が咎めたんですね。良心が疼いた。誰だって大事なものを失ったときは悲しいものです。

なぜふっとさみしくなったかという、そういうことを吹聴している自分を見ているもう1人の自分がいるんです。自分が何かをやらかしているとき、それを冷静に客観的に見ているもう1人の自分がいて、「そんなこと、言うもんじゃない。」「それ、人間としてどうですか？」と言う。これを良心と言います。

ある人が言いました。良心というのは正三角形をしていて、罪を犯す度に、心に組み込まれている正三角形（良心）がグリッと一回転する。回転するとき、正三角形の尖っている角が、心のひだをギギギと引っ搔くんです。これが良心の呵責。「ああ、言っちゃった…」「やらかしちゃった…」また悪いことをする。また良心の三角形が回るので、心がえぐられて「イタタタ…」となる。だけど、何百回も何千回も回転しているうちに、段々三角形の角が取れて丸くなって来る。だから平気になって来るんです。初めて嘘を付いたとき、初めて盗んだとき、初めて壊したとき、初めて人を傷つけたとき、夜も眠れなかった。

ところが成長するにつれて、経験を積むにつれて、「皆やってる。」「そんなこと一々気にしてたら生きて行かれへん。」鈍感になります。

しかし、自分を見ているもう 1 人の自分ではなく、自分を見ている神がおられるという場合はどうですか？神には良心の呵責の摩耗がありません。この創造主の前に、私たちは全て罪びとです。神から離れているという意味で根本的に罪びとであり、神ならぬものを拝んでいるという意味においても罪びと。そして、良心の呵責が摩耗しているために・神がご覧になっていることを忘れて生きているために、対人関係においても、随分失礼なことや無礼なことを重ねて来たかもしれない。

私の場合は言い切れます。やって来ました。その感覚を取り戻したとき、「私は私のままでは、神がどんなに『わたしのところに来て来い。』と言われても、正しい神・正義の神・罪を憎んで罰する神の前に、喜んで立ち返ることは出来ない。恐ろしくて。そんな恐ろしいことは出来ない」と思ってしまう。

神はそれをよくご存知で、こう言われたのです。

1. ああ、渴いている者は（罪の赦しに渴いている者は）みな、水を求めて出て来るがよい。

子供のとき、おっちゃんがよく冷やし飴を売りに来ました。「ひ～や～し～～あめ～♪」あれを聞くと「あ、渴いてる」と。問題があつて、タダじゃないんですよ。

でもここでは「ああ、渴いている者はみな、水を求めて出て来るがよい。金のない者も。」

飢えてるんだろ？「さあ、穀物を買って食べよ。」でも、金ない。そしたら「さあ、金を払わないで、穀物を買え。代価を払わないで、ぶどう酒と乳を。」

これ、不思議な言葉ですよ。私たちが何かを得るには貰うか・盗むか・買うか。盗むは論外。

水を売りに来た人が「さあ、渴いている者は水を求めて来い。」お金ないんですけど。「金なくてもいいから。金なしに買え。穀物を買って食べよ。さあ、金を払わないで、穀物を買え。」

金を払わないで貰う場合、それは“買う”と言わない。“貰う”です。

“買う”とは代価を払って、払った物と交換で物を得ること。買うというのは払うということ。

貰うは、払わないで一方的行為で貰うことです。

ところがここでは、金を払わないで、穀物を買え。代価を払わないで、ぶどう酒と乳を。

はじめ水だったのが穀物になり、穀物がぶどう酒も乳も。段々グレードアップして、「すごいものがあるから、代価を払わないで良いものを買いなさい。」

以前もお話したことがあると思いますが、宝くじを専門に扱っている銀行がありましたよね。

D 銀行。D 一銀行。D 一勸業銀行。殆ど匿名になってない。

昔日本がバブル絶好調のとき、その取引相手の企業家たちが集まって（そのとき皆株式投資してました）、世界の流れを知りたいので、経営者たちにレクチャーをして欲しいとお招きを受けたんです。

会場は有馬温泉。「有馬兵衛（ありまひょうえ）の向陽閣（こうようかく）へ♪」向陽閣でやったんです。

因みにあの CM ソングは“浪花（なにわ）のモーツァルト”と言われているキダ・タローが作りまして、探偵ナイトスクープの常連だったのです。何の話や。

あのバブルのときの日本経済って、もうすごかった。土地がむちゃくちゃ上がったでしょ。

どれくらい？日本列島の土地全部売ったら、アメリカ大陸・アメリカ合衆国 4 つ買えたんです。

おかしいですよ、これは。どう考えても。あり余っているから大盤振る舞い。とにかく使う。
まだ若かったのですが、私のような者でも自宅からハイヤーで向陽閣まで送り迎え。タクシーじゃない。
ごっついハイヤーで。旅館に着いたら、女将から20人くらいズラー並んでいる。
(* 深々とお辞儀して)「いらっしやいませー。」

早目に着いて、控室で準備をすることになったんですが、控室というのが狭い会議室とかそんなんじゃない。12畳?15畳?ちょっと覚えてません。広ーいお部屋で、大阪が展望出来る270度の枠無しの窓。
部屋に入ると香が焚いてある。仲居さんがお茶を入れてくれるんですが、お茶に金粉が浮いてるんです。
フケじゃないですよ。金粉。金なんか飲んで体にええんかなと。ええらしいね。金粉や!
飲んで、縁に付いたのを指でぬぐい取って飲んで。庶民!

「温泉に浸かって、どうぞゆっくり講演に臨んでください」ということなんですが、私、お話する前は非常に緊張していて、時間があるならとにかく準備に使いたいタイプ。温泉パス。
とにかく見直して、良い内容のものを提供したい。ずっと準備してたけど、なんか落ち着かへんねん。
広すぎて。広ーい所の真ん中で。私、どっちかという狭ーい所の隅っこで壁にもたれて。
真ん中で金粉のお茶飲みながら落ち着かない。広いだけじゃなくて静かだから。うちのマンションの前は広い道路で、いつもピーポーピーポー走ってる。それに、旅館だからすごく片付いている。
私がいつも準備している所は足の踏み場もない。スゴイよ。

つまり、非日常過ぎて落ち着かないんです。それで喫茶室に行って、お客さんたちが雑談しているので丁度ええわと。「コーヒーとサンドイッチ」言おうとメニューを見たら、確かサンドイッチが1,500円。2,000円くらいしたかな。バブルやから。「コーヒーとサ…、トウも下さい。」みたいな。
コーヒーも1,500円くらいしたと思います。コーヒーとサンドイッチで3,000円で、どうですか?
小腹を満たすのに。いくらバブルとは言え。

コーヒーだけチビチビ飲みながら準備して、「さあ、スタンバイ完了。講演時間だ。」
私が「お愛想(おあいそ)です」と言うと、私の首に“講演者”というラベルが掛かっていて、「講演の先生ですね。結構です。お支払いは全部D-勧業銀行さんが行うことになっていますので結構です。」
…サンドイッチ頼んどいたら良かった…。
そのとき、この心理が分かったね。私はコーヒーを飲んだけど、金を払わないで飲んだんです。
でも、ホテル側はちゃんとお払ってもらっている。私以外の誰かによって。

さあ、金を払わないで、穀物を買え。代価を払わないで、ぶどう酒と乳を。
私のいのちを満たすもの、私の罪を洗い流すもの・私に永遠のいのちを与えるもの。
この究極の救いは金を払わないで買いなさい。あなた自身は代価を払わなくても良い。
あなたに代わって、キリストが代価を払って救いを提供するので、それを受け取りなさい。
それがここで言っている意味です。

3. 耳を傾け、わたしのところに出て来い。聞け。そうすれば、あなたがたは生きる。わたしはあなたがたと永遠の契約を結ぶ。

永遠の契約。あなたに代わって代価を払ったイエス・キリストを自分の救い主として受け入れるならば、イエスを信じた者は永遠のいのちが与えられ、罪の赦しが与えられ、神の子として受け入れられる。イエスが流した血潮(聖書では血は命)、イエスの血に表されている命の償いによって私たちは救われる。

